

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書

令和元年 8月 7日

計画の名称	2 能美根上S I C（仮）へのアクセス向上により、地域経済の活性化や利便性の向上を実現する道路整備		
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）	交付対象	石川県、能美市
計画の目標			

能美市周辺地域においては、高速道路インターチェンジが設置されていないため、高速道路へのアクセスが不便な状態となっており、市内の工業団地や観光施設等から高速自動車道へのアクセス時間の短縮が望まれている。そこで、スマートインターチェンジの新設、インターチェンジへのアクセス道路を整備することにより、既設企業の輸送時間短縮や円滑化の支援、周辺の観光・レクリエーション施設へのアクセス時間短縮を行い、利便性を向上させ、来訪者の増加や地域の活性化を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）	工業団地等の生産拠点や観光施設等から高速道路インターチェンジへのアクセス時間を短縮することにより、来訪者の増加や産業の活性化を図る		
----------------	---	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
$\text{インターチェンジアクセス10分圏内人口確保率（能美市内）} \\ \text{（ICアクセス10分圏内人口確保率）（評価時）} = \frac{\text{10分圏内人口}}{\text{能美市人口}}$	(H26当初)		(H30末)	
	約16%		約80%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	8,059百万円	A	8,059百万円	B	百万円	C	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	------------	----------	---	----------	---	-----	---	-----	------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
能美市において評価を実施	事業完了後
	公表の方法 能美市ホームページで公開

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・能美根上スマートICの完成、木曾街道線の改良により、沿線上の能美根上S I Cへのアクセス性の向上が確認された。		
II 定量的指標の達成状況	指標（インターチェンジアクセス10分圏内人口確保率（能美市内））	最終目標値 80%	最終実績値 80%
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）	・スマートIC周辺3kmエリアを中心に、近年企業進出や増設が進み（投資額約680億円）、新規雇用数も増加（約2千人） ・スマートIC開通後3箇所の工業・産業団地が完売し、現在2箇所の流通・産業団地を造成中であり、すでに市内初となるビジネスホテルがスマートIC隣接地に進出		

3. 特記事項（今後の方針等）

・スマートICは、開通以降計画交通量を超える利用で推移しており、その効果を市内全域へ最大限波及させるためにも、幹線道路網の整備を進め、更なるアクセス性の向上や物流の効率化を図る。
